

富山市教育委員会会議録

令和2年6月定例会

- 1 日 時 令和2年6月29日(月曜日)
午後 1時30分 開会
午後 2時25分 閉会
- 2 場 所 議会棟8階 第3委員会室
- 3 出席委員 教育長 宮口克志
委員 若林啓介
委員 藤井久丈
委員 尾畑納子
委員 高田 健
- 4 説明のために出席した者
事務局長 牧田 栄一
事務局次長(総務・社会教育担当) 山本 貴俊
事務局次長(学校教育担当) 大久保 秀俊
教育総務課長 石黒 健一
統合校整備等推進室長 豊島 栄治
学校施設課長 佐伯 誠司
学校教育課長 國香 真紀子
学校保健課長 長 康博
生涯学習課長 金井 誠
民俗民芸村管理センター村長 石井 達也
図書館長 嘉藤 稔
郷土博物館長 坂森 幹浩
ガラス美術館次長 高場 英人
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹(課長代理) 中山 武史
教育総務課管理係長 余川 毅
教育総務課主任 廣岡 洋子
- 6 傍聴人数 2人

7 付議案件

(1) 議 案

議案第35号	令和2年度富山市教科用図書採択協議会委員の委嘱について
議案第36号	富山市社会教育委員の委嘱について
議案第37号	富山市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第38号	富山市民俗民芸村運営協議会委員の委嘱について
議案第39号	富山市立図書館条例施行規則の一部改正について

(2) 報告事項

報告事項27	令和2年6月市議会定例会に付議した令和2年度補正予算(追加提出分)について
報告事項28	令和2年6月市議会定例会における質問の概要について
報告事項29	新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について
報告事項30	富山市教育委員会人事について

(3) その他

その他10	富山市郷土博物館企画展「夏だ！お化けだ！！幽霊だ！！！」
その他11	富山市佐藤記念美術館企画展「富山ゆかりの美術」
その他12	「富山ガラス大賞展2021」作品募集について

8 会議の要旨

【開会】

[教育長]	開会を宣言する。 本日は、委員全員が出席しているため、会議は成立している。
-------	--

【前回会議録について】

[教育長]	5月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員]	(意見なし)
[教育長]	意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

- [教育長] 議案第35号～38号は、附属機関の委員の委嘱に関する案件であり、報告事項30は人事に関する案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 承認を得られたので、議案第35号～38号、報告事項30については非公開とし、その他12の後に行うこととする。

【議案第39号】

- [教育長] 議案第39号について事務局から説明を求める。
- [図書館長] (議案第39号について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 採決を行う。議案第39号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第39号については原案どおり可決した。

【報告事項27】

- [教育長] 報告事項27について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項27について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [藤井委員] 補正額については、市が直接国へ提出するのか、一度県の方で取りまとめるのか。
- [教育総務課長] 予算は全額市が歳出を組み、そのうち1/2が県補助金、1/2が交付金という形でまとめて国へ申請する。100%国の支出金ということになる。
- [藤井委員] 直接市から国へ提出するのであれば、市町村によってかなり違いがあるのではないかと。全国の市町村でだいたい同じような形で揃えようというものなのか、それとも富山市は特にこれというものがあるのか。富山市としてのアイデアは何かあるのか。
- [教育総務課長] 国の第2次補正予算のメニューの中からこちらで可能な事業を提案しているものであり、特別、富山市として特色のあるような対策

とはなっていない。国が示したメニューの中からの事業ということになる。

[牧田事務局長] 他市との違いについて、特に他市との調整というものは図っていない。第1次補正予算でも当初から出していたが、第2次補正予算ではその時に想定されなかったものを出した。例えば、分散して授業をする際に特別教室を使わなければならないことが出てくるが、その特別教室にはホワイトボードなどの備品がなかったりする。分散して授業をする際の新たな特別教室の活用方法といったものに対して、今回の補正を行っている。

[山本事務局次長] 交付金については、学校規模に応じて100万～200万という目安がある。その枠内で、学校にとって必要な物は何かという希望を取った上で、そこに予算を付けていくということになる。そういう意味では、使い勝手の良さというのがある意味特徴になってくるのではないかと思う。

[藤井委員] ホワイトボード等以外にも、ICTを使用した教育プログラムのソフトなど、教育の内容そのものに関わる場所も含めた予算も見て良いのか。予算の使い方に自由度があるのであれば、せっかくなら富山市らしいものを考えても良いのではないかと思う。

[教育長] 教育ソフトのようなものの購入については、この予算の中での支出は可能なのか。

[教育総務課長] 現在、中身や使用用途については、国から細かなことは示されていない。今後調整しながら、必要な物を揃えていくことになると思う。

[教育長] 今いただいたご意見も参考にしながら、国から示されたメニューに基づいて、必要な物を整えていきたいと思う。

[尾畑委員] 全国でこういったことを始めると、体温計や消毒液などが一気に減り、手に入りにくくなる可能性があるのではないかと思うが、それに対する対策などはあるのか。

[教育総務課長] 消毒液等については、国の方で優先購入という仕組みで調整をしていただいている。体温計などについてもそういった仕組みがあればスムーズに供給されると思うが、今のところはそこまでの調整はされていない。

[尾畑委員] 国のお金は制限が強い部分があるので、そこはうまく運用されるようお願いしたいと思う。

【報告事項 28】

- [教育長] 報告事項 28 について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項 28 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [高田委員] 「富山市立学校新型コロナウイルス感染症対策検討会議」は、月に 1 回など定期的に行われるものなのか。それとも、全国や県内の感染状況が変化した時などに行われるものなのか。
- [学校保健課長] 定期的に毎月いつ頃に行うということは特に決めていないが、現在のところは 6 月に 1 回行い、7 月にも行う予定である。今後も状況を見て、必要に応じて行っていきたいと思う。
- [若林委員] 博物館等を市長部局に移管させてはどうか、との質問が出た理由は何かあるのか。例えば、県内の他の市町村でそういった対応をしているところがあるとか、一般的にそのような流れになってきているとか、何か背景があるのか。
- [山本事務局次長] 特にそのような傾向があるということを踏まえてのものではないと聞いている。

【報告事項 29】

- [教育長] 報告事項 29 について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項 29 について説明)
- [学校教育課長] (報告事項 29 について補足説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [尾畑委員] 修学旅行について、中止はやむを得ないと思うが、代替旅行なども全くないということか。
- [学校教育課長] 代替旅行は各学校の裁量に任せているが、密を避け、日帰り旅行や 1 泊 2 日で感染していない地域を選択して代替旅行を考えている学校が多いと聞いている。
- [若林委員] 先ほどキャンセル料という話があったが、現時点で具体的な金額の提示などはあるのか。
- [牧田事務局長] こちらからある程度の自粛をある程度求めるのであれば、キャンセル料の保護者負担についても考えないといけないと思っている。具体的にキャンセル料が一人当たりどれぐらいかかるのかについて、現在学校に調査をしているところである。

- [高田委員] 修学旅行は時期的にはだいたい何月頃に行うものなのか。
- [牧田事務局長] もともとは5月から6月を計画していたのが一旦先送りになっていた。ただ、いつまでも先送りにして急にやめるというのも良くないことであるし、代替案を考えるのであれば、子どもたちにはかわいそうだが、ある程度の段階で決める必要があった。一つの区切りとして、今がギリギリの判断の時期ではないかということで、一旦中止という判断をさせていただいた。
- [尾畑委員] もともと5月に予定していた旅行を一旦キャンセルした時点で、キャンセル料がかかってしまうのか。
- [学校教育課長] キャンセル料に関して、宿泊費についてはだいたい20日前までであればかからないが、企画料というものがある。これは旅行を企画した段階で発生してくるものであり、保護者負担になるキャンセル料は、この企画料のことである。
- [教育長] 自粛を求めての中止ということもあり、キャンセル料についてはこちらで補填できないかということで進めているところである。

【その他】

- [教育長] その他について事務局から説明を求める。
- [郷土博物館長] (その他10、11について説明)
- [ガラス美術館次長] (その他12について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

- [教育長] (議案第35号について事務局から説明を求める。)
- [学校教育課長] (議案第35号について説明する。)

[教育長] (議案第35号についての採決について、各委員に諮る。)
[各委員] (議案第35号について同意する。)
[教育長] (議案第35号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

[教育長] (議案第36号について事務局から説明を求める。)
[生涯学習課長] (議案第36号について説明する。)
[教育長] (議案第36号についての採決について、各委員に諮る。)
[各委員] (議案第36号について同意する。)
[教育長] (議案第36号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

[教育長] (議案第37号について事務局から説明を求める。)
[生涯学習課長] (議案第37号について説明する。)
[教育長] (議案第37号についての採決について、各委員に諮る。)
[各委員] (議案第37号について同意する。)
[教育長] (議案第37号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

[教育長] (議案第38号について事務局から説明を求める。)
[民俗民芸村管理センター村長] (議案第38号について説明する。)
[教育長] (議案第38号についての採決について、各委員に諮る。)
[各委員] (議案第38号について同意する。)
[教育長] (議案第38号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

[教育長] (報告事項30について事務局から説明を求める。)
[教育総務課長] (報告事項30について説明する。)

[教育長] 以上をもって本日の議事は終了したが、その他、質問等あるか。
[藤井委員] 国の第2次補正予算の捉え方については、今まで充実できなかったものを補うという形なのか、それとも、ウィズコロナということも見据えて、もっと新しい、大きなことをやっていくというニュアンスが含まれているのか。
[牧田事務局長] 例えばGIGAスクール構想というものがあり、これは別立ての予算としてある。国が6月の補正予算の中で、コロナだけではなく災害

等の緊急事態が発生した場合に、リモート教育ができるようにするための予算を別予算で計上している。これは、令和5年までに1人1台端末を配布しようとしていたものを、今年度中に1人1台端末を配布するとしたものである。リモート教育はすぐできるものではなく、子どもたちや先生方にも研修が必要であるが、まずは通信機器や通信環境の整備を図っていきたいと考えている。

[藤井委員]

コロナ関連の予算を一気に計上するというのではないのか。

[教育長]

GIGAスクールについては、今年度中に1人1台端末及び通信環境の整備のために前倒しで既に予算が付いており、それとはまた別に今回の補正でコロナウイルス感染症対策の事業費が付いたということになる。

【閉会】

[教育長]

閉会を宣言する。